

## 年頭のごあいさつ

明けましておめでとうございます。昨年中は、地域の方々を始め、多くの方々にご支援を賜りましたこと、厚く感謝申し上げます。

さて、今年は、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所の事故から10年が経ちます。当施設においては、開設から16年、再開から5年の月日が過ぎようとしております。

町の復興が着々と進み、町にも人が戻り、少しずつ活気が戻りつつあります。また、当施設においては、震災当時の約75%の入所者を受け入れることができるまでになり、確実に一步一步前進しております。

今後、2050年問題、9060問題など、社会が抱える問題が深刻化する中で、ますます介護福祉の充実が求められ、特に特養の役割は重大であると考えております。

今年度も、新型コロナウイルス感染症や介護保険制度の改正など、厳しい状況が続くと思いますが、職員で力を合わせ、ワンチームで取り組めば、この難局も乗り切れると信じています。

これからも、地域社会の一家族として、地域の方々とのつながりを大切にし、地域から信頼され、地域に貢献できる施設であり続けたいと思っております。

結びに、令和3年が、笑顔で暮らせる明るい年でありますようご祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

令和3年1月吉日



社会福祉法人広葉会  
理事長 藁谷淳市